

8月二戸食だより



二戸市学校給食センター
給食だより

◆～毎月19日(食育の日)から1週間は、「二戸食週間」、
毎月25日は「二戸食の日」です～

2学期が始まりました。1年の中で一番長い2学期は、学習や生活面でたくさんの成長があることと思います。食の面でも、2学期は食事のマナーの習得や地産地消への興味を育てていけるよう、取り組んでいきたいと思っています。



8月4日は「8(は)・4(し)」の語呂合わせから「はしの日」です。今月は、はしについてふり返ってみましょう。はしをきちんと持って上手に使えると、見た目が美しく、スムーズに食事をする事ができます。みなさんも毎日の食事で、正しいはしづかいを意識してみましょう。

はしづかいをマスターしよう

My-Hashi

自分にぴったりのはしを持とう!

19.5cmのはし

親指と人さし指を直角に結んだ長さ×1.5

手首から中指までの長さ×1.2

はしは、長すぎても短すぎても使いにくいものです。自分の手に合ったはしを使いましょう。



はしづかいのタブー
これなづかいはマナー違反

大人になってからだと、長年の癖を直すのは難しいので、子どものうちから正しいはしの持ち方を身に付けるようにしましょう。また、『はしづかいのタブー』についても、ついやってしまっていないか、ご家庭でふりかえってみましょう。

おいしい二戸食いただきます!!



第2回 ～ きゅうり 編 ～



『おいしい二戸食いただきます!!』は、給食に登場する二戸市のおいしい地場産物と、その生産者の方々を紹介するコーナーです。今回は8月31日の「野菜の日」に合わせて、今が旬の夏野菜「きゅうり」を生産している工藤農園さんを紹介します。



工藤農園さんの農園は金田一にあります。夏場の暑い中、手入れや収穫など、大変な作業ですが、子どもたちの「おいしい」という笑顔のために安心安全なきゅうりを育てています。工藤農園さんのきゅうりは、1学期は6～7月に使用し、2学期は9月以降の使用を予定しています。

Q. きゅうりの生産を始めたのはいつ頃からですか。

父親が農園を営んでいましたが、体調をくずしてしまい、自分が跡を継ぎたいと思い、始めました。11年になりました。

Q. きゅうりの年間生産量はどのくらいですか。また、何人で作っているのでしょうか。

8名の従業員とともに、がんばっています。年間生産量は70トンを目指しています。最盛期は1日に5000本収穫します。

Q. ご苦労や喜びなどを教えてください。

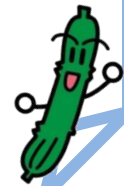
天候に左右されたり、毎日の力仕事、夏の暑さや冬の寒さの中の作業はとても大変ですが、作ったものをおいしいと言って食べてくれる人がいることや、手に取って買ってくれる人のことを考えると、みなさんのためにがんばろうと思います。



花が咲く頃に風などで負荷がかかると、まがったきゅうりになるそうです。



給食を食べている児童生徒のみなさんへ
安全な食材を毎日作っています。たくさん食べて、どんどん大きく成長してくださいね!



～お知らせ～ 平成30年7月18日(水)に提供した調理済み給食の放射能濃度を測定した結果、不検出となり安全が確認されました。また、過去の検査結果につきましても、二戸市ホームページに掲載されておりますので、ご覧ください。